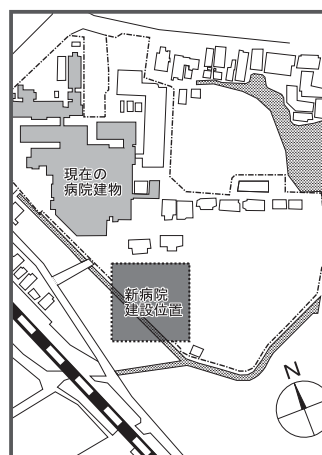


新築工事の概要をお知らせします

地震に強い新病院
実施設計ができました新病院は、
免震構造5階建て

新築予定の病院本棟の実施設計がこのたびまとまりました。

規模は18診療科210床で、建物は鉄筋コンクリート5階建て、地震災害等に対応するため、「免震構造（しっかりした柱や梁と免震装置の設置）」を採用します。場所は、現在の病院に隣接する駐車場に建設します。

本棟新築工事費は
約51億8千万円

病院本棟は、平成22年度から平成23年度の2か年で建築工事を行い、工事費は約51億8千万円です。

基本設計では、概算で42億円（全国平均概算2千万円／床×210床）の工事費を見込んでおりましたが、実施設計により詳細な工事費を精査しながら算出した結果、約10億円増加が必要となりました。

これは、琵琶湖西岸断層帯地震の影響を考慮し、災害拠点病院としての免震構造の国の評定や詳細な構造計算を行った結果によるもので、通常の病院より建築費が割高になりますが、災害時にも適切な医療を続けることができる地震に強い病院を建設するための経費です。

病院整備事業費の推移

	平成20年3月 基本計画	平成21年3月 基本設計	平成22年3月 実施設計
【概要】			
病床数	210床	210床	210床
建築延床面積	14,700㎡	14,949㎡	14,977㎡
建築費用	46億7,460万円	42億1,000万円	51億8,000万円
建築単価	31万8千円/㎡	28万2千円/㎡	34万6千円/㎡
【事業費内訳】			
本棟建築工事	46億7,460万円	42億1,000万円	51億8,000万円
南棟改修工事	1億2,120万円	1億2,120万円	3億4,000万円
解体・外構工事	5億58万円	5億4,236万円	5億756万円
設計費等	2億854万円	2億6,979万円	2億5,175万円
医療機器等整備	28億1,438万円	18億405万円	17億8,167万円
用地購入費	0	1億3,600万円	1億3,600万円
その他	8,165万円	8,165万円	8,165万円
合計	84億0,095万円	71億6,505万円	82億7,863万円
財源内訳	国庫補助金	5,043万円	3億6,223万円
	県補助金	5,043万円	1億4,985万円
	基金繰入金	0	6億円
	病院事業債	56億2,320万円	45億860万円
	合併特例債	18億7,440万円	18億7,030万円
	一般財源	8億249万円	2億7,407万円

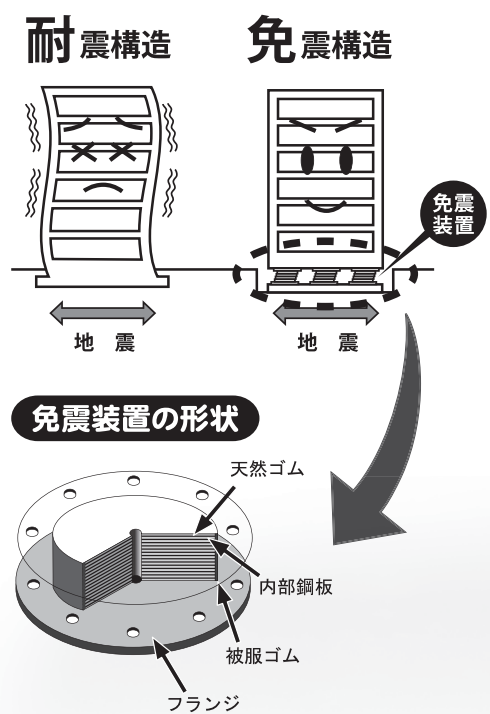
※金額は、一万円以下を原則四捨五入し、端数を調整しています。

免震構造とは

免震構造とは、建物本体と基礎との間に絶縁体（免震装置）を配置し、地震の「揺れ」を直接建物に伝えないようにする構造システムです。

地震が発生しても建物の変形はもちろんのこと、医療機器や家具・備品などの転倒や損傷などがほとんど無い方式といわれています。

新病院には、建物の本体の柱の真下に、垂直方向には硬くて水平方向には柔らかい「積層ゴムアイソレータ」という装置を配置するとともに、地震のエネルギーを吸収する「ダンパー」という装置を組み合わせて設置し、建物に入る地震の揺れを大幅に減少させます。

耐震化特別交付金や
合併特例債を活用

病院の建築工事の財源は、通常大部分を借入金（起債）で賄い、その後30年程度かけて返済しますが、今回の新病院建設では、国の経済対策で昨年創設された「医療施設耐震化臨時特例交付金」などで約23億5千万円の交付が見込めるほか、返済額の70%が地方交付税で措置される「合併特例債」を利用することで財源を確保しました。

これにより通常の借入金は、基本設計時点の45億円から35億円にまで減額することができました。

一層の経営改善に
努めます

現在、病院をあげて経営改善に取り組んでおり、収支の状況も少しずつですが着実に改善方向に進んでいます。病院の新築を契機に、今後もサービスの向上と一層の経営改善に取り組み、健全経営を目指してまいりますので、市民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

岡公立高島総合病院 病院建設部
☎(36)8089



北側から見た完成イメージ